



おおばの裕子の

# ゆうゆう通信

No.55

2017年8・9月号

日本共産党  
市会議員  
(中原区)  
市政報告

川崎市議会第2回定例会  
(6月5日〜28日)  
大庭裕子議員の一般質問



- 6月26日の一般質問で、小杉町3丁目再開発を中心とした周辺地域のまちづくり
- 園庭のある認可保育所整備
- 小型バスの運行
- 正規雇用の拡大と人材確保策などを質問しました。

旧休日急患診療所の跡地に園庭のある認可保育園の整備を求める

中原区役所の敷地内あった休日急患診療所が、6月から旧中原消防署跡地に新築された川崎市医師会館内に開設されました。今後の旧休日急患診療所の活用について質すと「老朽化が進み、除去を含め関係局と調整し

## 中原区役所敷地内の利活用と、建て替えの検討を 小杉町3丁目地域のまちづくりは市民本位で

ている」と健康福祉局長は答弁。大庭議員は、「この場所に「認可保育所の整備」を求めました。こと末末局長は、「中原区は、今後も保育所の整備が必要な地域」「旧中原休日急患診療所の用地活用について関係局、区と協議・調整する」と答えました。



手前：旧休日急患診療所  
奥側：旧中原区保健所

旧中原区保健所（中原区役所別館）の建替えは

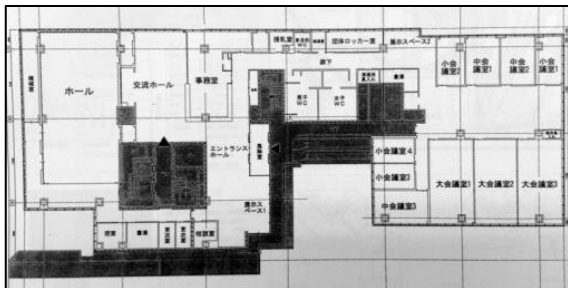
旧保健所は、1973年（S48年）年に建設され、築44年。子育て世帯が増えるなか、狭隘で使い勝手も悪く、乳幼児健診や予防接種の時期になると、ここもを抱いたお母さんたちでいっぱいになるため建て替え計画など検討すべきと要求。市民文化局長は、「区役所敷地全体の有効活用も含

市民の声を反映した新総合自治会館を求める

小杉町3丁目東地区再開発内に総合自治会館が移転します。

め、これらの課題解決に向けて関係局区と連携し検討」と答えた。

【新総合自治会館のレイアウトイメージ図】



延べ床面積は若干増え約1500㎡、会議室は1室増え10室、ホールは約200㎡で現在とほぼ同じです。新たな機能として、町内会・自治会の皆様が個別に相談できる相談室や2か所の展示スペース、ホール控え室、授乳室を整備する予定です。利用者アンケートを行い224団体から意見要望が寄せられています。大庭議員は、利用料金の維持を求める声など多く、市民の要望にこたえる施設にすることを求めました。

今後の総合自治会館周辺地域の利活用は、子育て・高齢者など市民の願いにこたえた計画を

大庭議員は、総合自治会館の跡地利用に関して、「広場等を整備してほしい」、「住環境に配慮した建物計画にしてほしい」また「老人いこいの家」整備との声もあります。沿道権利者の意向をしっかりとくみ取るとともに、貴重な市有地を民間に売却（高層住宅）をすることがないよう繰り返し求めました。

その他、二ヶ領用水、渋川沿いに老木となった桜の植え替え計画を検討すべきと要望しました。

園庭のある認可保育園の整備促進を求める！

8月に東急東横線の高架下、国道409号線沿いに「空中保育園」が開設されます。この保育園は、1階がコインパーキングでその上階を保育室とするもの、園庭がないため、409号線を渡り市ノ坪神社が子ども

もたちの遊び場です。大庭議員は安全対策に問題はないのか質し、提案してきた宮内市営住宅跡地、総合自治会館周辺地域、新たに宮内北側の市有地を提案し、全庁あげてとりくむように要望しました。



【子どもたちは遊び場に行くために、車の多い国道を渡らなければならない】

『小型バス』の運行  
初めて「位置づけ」答弁！

『小型バス』の運行について、大庭議員は、3月議会に引き続き質問。まちづくり局長は、路線バスについて、「これまでの取り組みに加え、身近な地域における路線バスの役割を拡大する方策として、道路事情により中型以上のバスが運行できないケースにおける小型バスの活用」を「検討や実証等の取組を進める」と踏み込んだ答弁がされました。

おおば裕子さんに期待します

江川せせらぎ遊歩道沿いを多くの人がジョギングしていますが、私もその一人です。  
私たちは、「中原なかよしクラブ」というマラソン仲間の集まりを結成しています。目的は春と秋の駅伝大会への参加と各地のマラソン大会への参加で交流を深めることです。大庭さんも「ホルルマラソン」に参加した経験があるようにスポーツ愛好家です。「中原なかよしクラブ」の一員として、駅伝大会への何回か参加しています。スポーツを愛する仲間として、これからも市民スポーツの発展のために力を発揮してください。期待をしています。

下小田中4丁在住 椎名多美男

「市民アンケート」  
協力ありがとうございます

4297通(5月末)の返信が寄せられ、市民の「子育て・高齢者・まちづくり」の要望をまとめ、市長に提出しました。(5月16日)



市長に「要望書」  
を提出する  
共産党市議団



「LGBTって何？」講演会(党  
市議団)開催 (7月9日)

「LGBT(性的少数者)は、ごく身近なことです。6月議会代表質問を行うにあたり、パートナーシップ制度に取り組み自治体や当事者から話を聞くなど、学んできました。LGBTを人権問題として重視し、市民のみなさんと考える場として当事者でもある南和行弁護士がお話をし、参加した方から「いい企画でした」との感想が多く寄せられました。



▼自校調理方式の犬蔵中学校の給食  
視察(4月14日)

1月から自校調理方式で給食が始まった宮前区犬蔵中学を訪問しました。校長先生から、「生徒も会話がはずみ、保護者も喜んでる」「配膳も思った以上にスムーズ」と話しました。朝読書の時間を10分減らして給食時間を確保するなど改善策もとられています。栄養士が配置され、4月から月に一度の給食よりも発行されています。



【給食配膳準備】

笑顔が広がる中学校給食始まる！

「見学」スガ整備され給食を作る様子が見られます。中原区は12月から中部センターが開始予定です。



【食器乾燥機】



市内の24団体と党市議団との懇  
談会を開催(7月10日～21日)

各分野で活動する団体のみなさんと懇談しました。今年5月団体が増えて、貴重なご意見が寄せていただきました。2018年度予算要望にまとめることも、議会等でも反映をしてみたいです。



- 脳外傷友の会ナナの会・県弁護士会川崎支部・肢体不自由児父母の連合会・港湾労働組合・育成会手をむすぶ親の会・一般廃棄物処理連絡協議会・県行政書士会・男女共同社会をすすめる会・自閉症協会・公害病患者と家族会・新日本婦人の会・年金者組合・川崎合同法律事務所弁護士・精神障害者地域生活推進連合会・助産師会・リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会・商工会議所・建設業協会・地域腎臓病連絡協議会・身体障害者協会・精神保健福祉家族会連合会あやめ会・視覚障害者福祉協会・ろう者協会・神奈川施設保護者連絡会きずなの会

市民のみなさんと  
『平和行進!』(5月8日)



原水爆禁止国民平和大行進は、平和を求める人なら誰でも参加できる行進です。2017年の平和行進は、核兵器禁止条約の交渉会議が国連で開催されるという歴史的情勢の中でおこなわれ、感慨深いものです。唯一の被爆国の日本政府に条約の署名をさせなければならぬとの思いを強くし、平和館から新城公園まで歩きました。

中原区で、市民が「ヘイトスピーチ」  
中止に追い込む (7月16日)

川崎市の中原区平和公園で、再びヘイトスピーチ(差別扇動行為)が行われようとしたが、「『ヘイトスピーチを許さない』かわさき市民ネットワーク」が約1000人(主催者発表)で抗議行動を行い、中止に追い込みました。スローガンでもある『ともに生きていく』を地域から築いていきたいと思えます。



【ヘイトスピーチに抗議する市民】

福祉と暮らしの案内



65歳以上の方で生活急変の収入減や災害等で介護保険料納付が困難な場合、減額・免除の制度があります。収入が少なく生活困難、入院、失業等で所得減少、災害で住宅・財産に損失、刑事施設等の1か月以上拘禁、などです。

問い合わせ

区役所高齢・障害課  
(744) 3258  
相談は  
共産党川崎市議団  
(200) 3360

おおば裕子の  
この指とまれ



職場環境を改善させ  
過労自殺を生ませない社会を！

6月議会で、「中小企業の人手不足が深刻化し、市内の中小企業から、正規雇用を中心に人材確保に関する相談等が数多く寄せられている」「オリンピック・パラリンピックの開催を控えていることから、特に建設業の方々から人材不足が深刻」と、経済労働局長が答えています。オリンピックまであと3年とされる中、新国立競技場の建設に携わる23歳の若さで男性が過労自殺をしたとの報道は、やるせない思いでいっぱいです。川崎市でも現状についてもっと質していかないと、と感じます。先の厚労省の調査では昨年度の過労自殺・未遂は84人。その中に電通の新入社員だった高橋まつりさんも。「働き方改革」を掲げながら、長時間労働の固定化をはじめ、労働者の心と体を痛めつけるようなことがあってはなりません。